武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度２月号
統括校長　井内　潔
令和８年２月２日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

http://musashimurayama.ed.jp/mmced4s/

将来へつながる「基礎的・基本的な学力」を大切にする学び

中学部副校長　西　伸一郎

私立高校や都立高校の推薦入試が始まりました。２月には、小学生の中学校入試や、中学生の高校一般入試が本格的に実施されます。子供たちは今、進路に向けた大切な時期を迎えています。これまでの学校生活で積み重ねてきた学びの意味や大切さを、あらためて実感する時期でもあります。

社会に出たときに必要とされる力は、難しい専門的な知識だけではありません。小学校で身に付ける「読むこと」「書くこと」「計算すること」といった基礎的・基本的な学力は、あらゆる学びの土台となる非常に大切な力です。文章を正しく読み取り、自分の考えを正確に書いて伝える力、計算を確実に行う力は、その後の学習だけでなく、日常生活の様々な場面で生かされます。

こうした基礎的・基本的な学力を土台として、中学校では、より長い文章を読み取る力や、考えを筋道立てて説明する力、計算や数量の考え方を活用して課題を解決する力などを一層伸ばしていきます。中学校の学習では、正確さに加えて、素早く考える力や論理的に判断する力がより求められるようになります。

小学校から中学校へとつながる基礎的・基本的な学力の積み重ねは、日常生活の様々な場面や、将来の進学・就職など、社会で求められる力へと確実につながっていきます。就職活動においても、こうした基礎的・基本的な学力が身に付いているかを確認するために、企業が SPI などの適性検査を活用することがあります。

SPI とは、企業が採用活動の際に実施する適性検査の一つで、応募者が社会人として必要な基礎的な力を備えているかを確認するためのものです。出題内容は難しい専門知識ではなく、文章理解や計算力、物事を筋道立てて考える力など、義務教育や高等教育の学習を通して身に付けてきた基本的な力を問う問題が中心となっています。限られた検査時間の中で問題に取り組む必要があるため、正確さに加えて要点をつかむ力や集中力も求められます。これらは、実際の仕事の場面でも欠かすことのできない力です。

このことからも分かるように、義務教育の中で身に付ける基礎的・基本的な学力や学習習慣は、将来にわたって大きな意味をもつ重要な力です。村山学園では、子供たち一人一人が確かな基礎的・基本的な学力を身に付け、自信をもって次のステップへ進めるよう、今後も日々の授業を大切にしながら、丁寧な指導を重ねてまいります。また、基礎的・基本的な力をより確かなものにするためには、家庭での学習習慣の定着が欠かせません。短時間でも学習に向かう習慣づくりや学習への声掛けなど、引き続きお願いします。